

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスCONOASU		
○保護者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年1月16日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職(5年以上の保育士)、理学療法士を配置しています。	・専門的な視点で、お一人お一人のアセスメントを実施し、個別・小集団での支援を行うことが出来ています。	今後は、運動・感覚の分野において専門職を中心として、力を入れて取り組み、お子様本人が楽しく取り組めるような活動に配慮していきます。
2	利用者様それぞれに合わせ作成した教材を使用し取り組んで頂いています。その日の活動においても、毎回異なる内容となるよう工夫しています。	お一人お一人、集中出来る時間や得意、不得意が異なるため、出来たことに達成感が得られるように配慮し、自信に繋がるよう促しています。	ご家族様より、要望が多い将来に向けた手先の訓練の練習、身辺自立等の支援の充実を強化し、成功体験を積み重ねることで達成感を感じることが出来るよう、支援者側も苦手意識を持つお子様が楽しく学ぶことが出来るよう知識習得を実施していきます。
3	利用者様の人数、状態に合わせた職員数の配置を実施しています。	基準より、多い職員数を配置することで、体調不良や急な休みが出た場合でも、対応出来る体制と整えており、お一人お一人に寄り添った支援が出来るよう配慮しています。	専門職(言語聴覚士、心理士等)を増やすことが出来るよう検討し、支援の質の向上に繋げることが出来るような体制作りを実施していきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会の確保。	当事業所で実施する活動を優先している事と、日程調整の困難が生じてしまいました。	地域や、近隣の児童クラブ、他事業所との連携作り、参加出来るような催しがあれば、状況に応じて参加出来るよう検討していきます。
2	ご家族に対しての家族支援プログラムや、研修の機会や情報提供の機会の確保。	ご要望があった場合には、ご家族との面談を実施していたが、日程調整が難しく、研修の機会を確保することが出来ませんでした。	ご要望があった場合だけではなく、定期的(月/1回)等の面談の機会の確保の充実、ご家族様が学べる研修会の実施、保護者同士の交流の場を設けることが出来るよう検討していきます。
3	利用者様が過ごされるスペース、個室の設備の少なさや部屋の広さの不十分さがある。	小学生から高校生までのお子様をお預かりするため、成長にともない、スペースが狭く感じてしまうことが課題です。クールダウン出来る個室がないため、パーテーションを使用し仕切る等の対応を行います。	事業所の構造上の問題であるため、直ぐに対応は難しい状況ではあるが、相談室・静養室も活用し、レイアウトの変更や広く過ごせるような空間作りを実施していきます。